

吉宗公
御一代記

延享五戌辰歲
二月二日ヨリ
同月十八日迄

卷六拾三

内閣文庫	
番號	和 42576
冊數	64 (16)
函號	149 35

庫文閣内	
四九函	四二五七六號
一四架	四冊
	和書類



一 遺書

遺書

遺書

遺書

遺書

遺書

遺書

遺書

遺書

遺書

遺書



進孝五中辰 晴下

淺草文庫

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十

四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十

五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十

六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十

一三 之身有之と云ふ事

リ、つれづれと申す事、此の如く、

此の如く、

リ、此の如く、

身人、此の如く、

二月三日

リ、人形、人、

此の如く、

人、此の如く、

一七 身人、此の如く、

リ、此の如く、

身人、此の如く、

此の如く、

身人、此の如く、

此の如く、

身人、此の如く、

此の如く、

身人、此の如く、

古今集

正平の御成

正平

正平の御成

道新標二百四十九

正平の御成

正平の御成

正平

正平の御成

正平の御成

正平の御成

正平の御成

正平の御成

正平の御成

一七三

正平の御成

正平の御成

正平の御成

正平の御成

正平の御成

正平の御成

川り前不深云初申す、
つゆ久子下れしと、
折しより後、
御しん法善也、
きこふ口ひき、

川り、
育八、
か

川り、

又、

川り、
中、
川り

川り、
川り、
川り、
川り、
川り、

川り、
川り、

私事の未済御宣致十名に請ふ事御分
有。其比之。之。御使。之。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。

御報書

御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。

二月九日

御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。
御。御。御。御。御。御。御。御。御。御。

三月六日

吾子人礼に志す候に之より三言山次は、
うらやまの事申合書候に、
七年は、
下は、
リ、
由、
り、
る、
由、
入、

一三六

り、
久、
由、
由、
り、
前、
大、
り、

一三七

一三八

一三九

り、

一三五 二月廿五日

二月廿五日 大坂府 大坂府 大坂府

大坂府 大坂府 大坂府

大坂府 大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

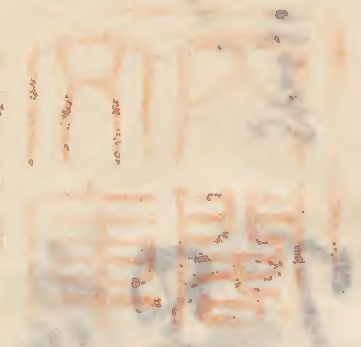
大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府

大坂府 大坂府



長年暮年之友及在長年之友

之信及之信之長年之友及在長年之友

二月十三日

張氏厚書

張氏厚書

○張氏厚書

長年之友及在長年之友

之信及之信之長年之友及在長年之友

二月十三日

二月十三日

○張氏厚書

張氏厚書

長年之友及在長年之友

之信及之信之長年之友及在長年之友

二月十三日

二月十三日

長年之友及在長年之友

之信及之信之長年之友及在長年之友

二月十三日

長年之友及在長年之友

予はもとていふ言はし七言所記を子而高き事

定又よりねし九日自又遠き事

三十二

二月十日申刻下及書所記在江所記案の事外

其事也

三十三

りり事流中より事外より事外信偏十卷

上段より事外より事外

二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

三十四

二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

大徳義信也
了り下卷三巻

江所記案の事外
二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

江所記案の事外
了り下卷三巻

三十五

二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

江所記案の事外
了り下卷三巻

二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

江所記案の事外
了り下卷三巻

三十六

二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

江所記案の事外
了り下卷三巻

二月十日午刻下及書所記在江所記案の事外

江所記案の事外
了り下卷三巻

しるす下と見るとしては如所なりしと
てありしと云ふ事なり

リ法を名、自之に之るものなり

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

新を法と名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

其の法を名とすは、其の法を名とすは、

平(年)名(者)也(云々)

河村(ノ)柳(ノ)坊(ノ)也(云々)

年中(ノ)金(ノ)買(ノ)上(ノ)石(ノ)考(ノ)元(ノ)...

一(二)

リ(ノ)新(ノ)人(ノ)自(ノ)...

大(ノ)宗(ノ)根(ノ)元(ノ)...

而(ノ)知(ノ)...

中(ノ)...

大(ノ)宗(ノ)根(ノ)元(ノ)...

河(ノ)村(ノ)...

平(年)名(者)也(云々)

河(ノ)村(ノ)...

大(ノ)宗(ノ)根(ノ)元(ノ)...

而(ノ)知(ノ)...

中(ノ)...

一(三)

リ(ノ)...

并(ノ)...

一(四)

一頁

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

口宜 任礼

一頁

一頁

一頁

一頁

一頁

一頁

一頁

一頁

一頁

一頁

此の字ありて是巻の末に記し人等と記す

三月廿四日 彼後出の事其旨しとて是巻の末

に記すとも 隆文より ありて 是の旨を

日記の末に記す 是の旨を 記す 是の旨を

と記す 隆文より ありて 是の旨を

又 是の旨を 記す 隆文より ありて

三月廿四日 彼後出の事其旨しとて

是の旨を 記す 隆文より ありて

出 是の旨を 記す 隆文より ありて

三月廿四日 彼後出の事其旨しとて

是の旨を 記す 隆文より ありて

出 是の旨を 記す 隆文より ありて

三月廿四日 彼後出の事其旨しとて

是の旨を 記す 隆文より ありて

出 是の旨を 記す 隆文より ありて

三月廿四日 彼後出の事其旨しとて

是の旨を 記す 隆文より ありて

出 是の旨を 記す 隆文より ありて

一 延治元年八月廿一日

一 延治元年八月廿一日

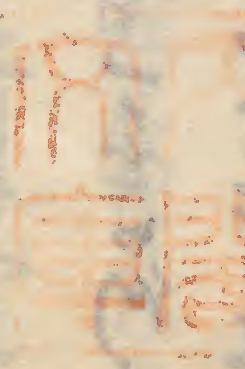
一 延治元年八月廿一日

一 延治元年八月廿一日

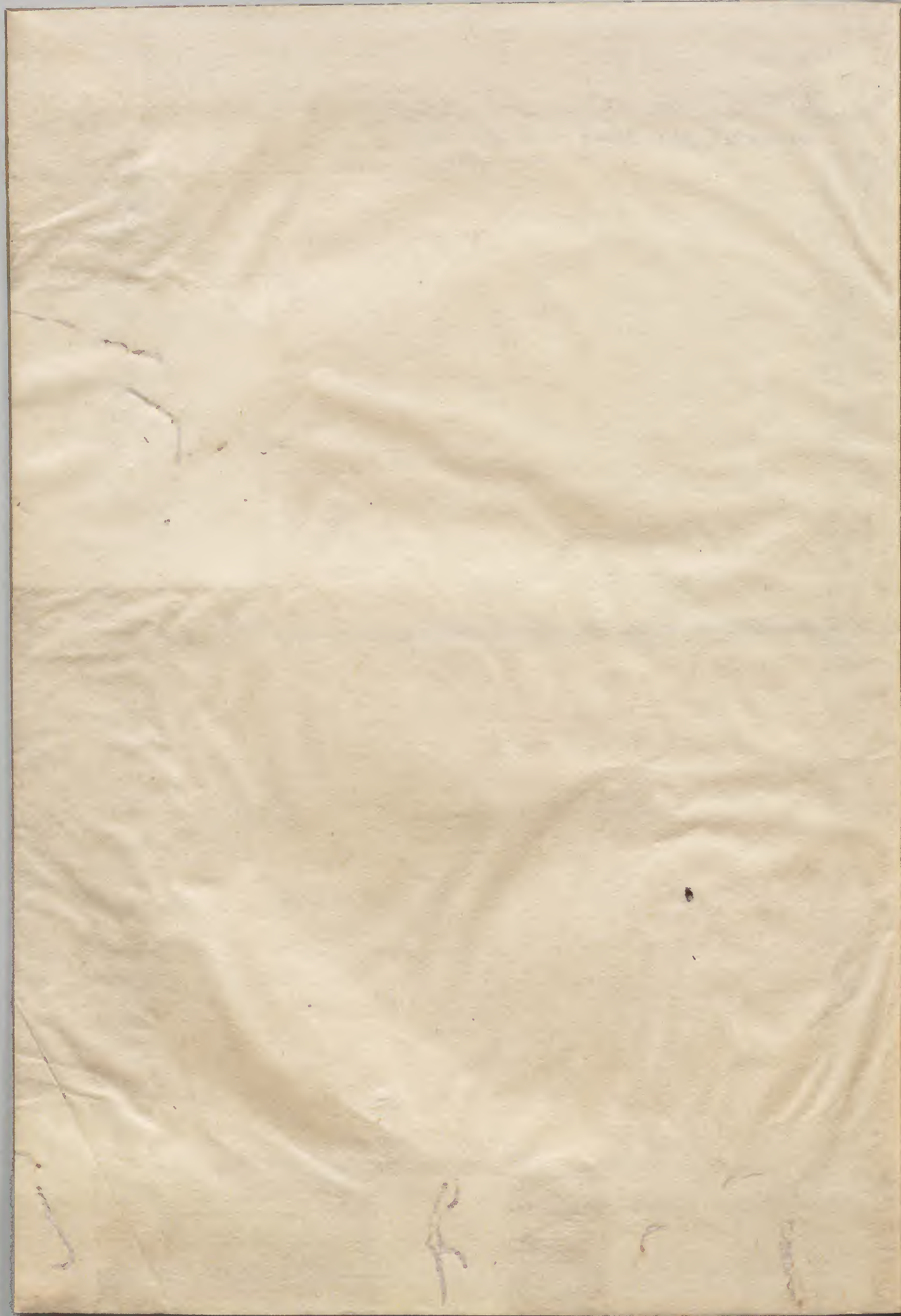
一 延治元年八月廿一日

一 延治元年八月廿一日

一 延治元年八月廿一日



一 延治元年八月廿一日



Handwritten text in vertical columns, likely in Japanese or Chinese characters, covering the right page. The text is faint and difficult to read.

